

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
地理歴史	世界史探究	3	2年次	内山 直希			
選択するときの条件	この科目の選択者は、3年次において世界史探究発展を履修してください。						
使用教科書	山川出版社「高校世界史」	使用副教材	浜島書店「ニューステージ世界史詳覧」 とうほう「ウィニングコンパス 世界史の整理と演習」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。			よりよい社会の実現を目指す国家および社会の形成者としての態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力
1	世界史へのまなざし	○	◎	◎	○	○	
2	第Ⅰ部へのアプローチ	◎	○	○	◎	◎	○
2	第1章文明の成立と古代文明の特質	○	◎	◎	◎		
3	第2章中央ユーラシアと東アジア世界	○	◎	◎	○		
4	第3章南アジア世界と東南アジア世界の展開	○	◎	○	○		
5	第4章西アジアと地中海周辺の国家形成	○	◎	○	○		
6	第5章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	○	○	◎	◎		
7	第Ⅱ部へのアプローチ	◎	○	○	◎	◎	○
8	第6章イスラーム教の伝播と西アジアの動向	○	◎	○	○		
9	第7章ヨーロッパ世界の変容と展開	○	○	◎	◎		
10	第8章東アジア世界の展開とモンゴル帝国	○	◎	○	○		
11	第9章大交易・大交流の時代	○	◎	○	○		
12	第10章アジアの諸帝国の繁栄	○	○	◎	◎		
13	第11章近世ヨーロッパ世界の動向	○	○	◎	◎		
14	第Ⅲ部へのアプローチ	◎	○	○	◎	◎	○
15	第12章産業革命と環大西洋革命	○	○	◎	◎		
16	第13章イギリスの優位と欧米国民国家の形成	○	○	◎	◎		
17	第14章アジア諸地域の動揺	○	◎	○	○		
18	第15章帝国主義とアジアの民族運動	○	◎	○	○		
19	第16章第一次世界大戦と社会の変容	◎	○	◎	◎	○	
20	第17章第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	◎	○	◎	◎	○	
21	第Ⅳ部地球世界の課題	◎		◎	◎	○	○
	ペアワーク・グループワーク	◎			○	◎	
	考査		◎	◎			◎
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめている。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意義、特色などを、年代、比較、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題を把握し解決に向けて考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。		
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%		C: 目標に対する到達度が0%～44%		
	教科・科目における各観点	授業における取組	定期考査など	ノートやレポートなどの課題			
	知識・技能	○	◎	○			
思考・判断・表現	◎	◎	○				
主体的に学習に取り組む態度	○	○	◎				

世界史探究 授業計画

授 業 計 画				実 施 状 況		
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	世界史へのまなざし(1) 第1部へのアプローチ(0.5) 第1章文明の成立と古代文明の特質(8)	・人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 ・資料を活用して、日常生活と世界の歴史のつながりについて考察する。 ・諸地域の歴史的特質の形成について、問いを表現し今後の学習に対して見通しを立てる。 ・資料を活用して、古代文明の政治・経済・文化的特質などを理解する。 ・古代文明について、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。	世界史へのまなざし①(0.5) 世界史へのまなざし②(0.5) 第1部へのアプローチ(0.5) 1 文明の誕生(1) 2 古代オリエント文明とその周辺(3) 3 南アジアの古代文明(1) 4 中国の古代文明・5 南北アメリカ文明(3)		
	5	単元テスト(1)				
	6	第2章中央ユーラシアと東アジア世界(9) 第3章南アジア世界と 東南アジア世界の展開(5) 単元テスト(1)	・秦・漢と遊牧国家、唐と周辺諸国の特質について、地図などを活用して理解する。 ・中央ユーラシアと東アジア世界の相互関係について、多面的・多角的に考察する。 ・南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを、地図などを活用して理解する。	1 中央ユーラシア・2 秦・漢帝国(4) 3 北方民族の活動と中国の分裂(2) 4 東アジア文化圏の形成(3) 1 仏教の成立と南アジアの統一国家(2) 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着(2) 3 東南アジア世界の形成と展開(1) 1 イラン諸国家の興亡とイラン文明(2) 2 ギリシア世界(3.5) 3 ローマと地中海支配(4.5) 4 キリスト教の成立と発展(1)		
	7	第5章イスラーム教の成立と	・西アジアと地中海周辺の歴史について、イラン・ギリシア・ローマの政治の特徴を中心に理解する。	1 アラブの大征服とカリフ政権の成立(3.5)		
	8	ヨーロッパ世界の形成(10) 第II部へのアプローチ(0.5) 第6章イスラーム教の伝播と 西アジアの動向(6)	・諸地域の交流・再編について、問いを表現し今後の学習に対して見通しを立てる。 ・アフリカ・アジアへのイスラーム教の伝播について、地図などを活用して理解する。	2 ヨーロッパ世界の形成(6.5) 第II部へのアプローチ(0.5) 1 イスラーム教の諸地域への伝播(3) 2 西アジアの動向(3)		
	9	前期期末考査(1) 第7章ヨーロッパ世界の変容と展開(11)	・中世西ヨーロッパの封建社会や文化について理解する。 ・十字軍や商業の発展などが中世西ヨーロッパ世界に与えた影響や、東ヨーロッパ世界の成立過程を、多面的・多角的に考察し、表現する。	1 西ヨーロッパの封建社会(3.5) 2 東ヨーロッパ世界(2) 3 西ヨーロッパ世界の変容(3.5) 4 中世文化(2)		
	10	第8章東アジア世界の展開と モンゴル帝国(7)	・宋と東アジア諸国との関係や、モンゴル帝国成立の意義について、資料を活用して理解する。	1 宋とアジア諸地域の自立化(4) 2 モンゴルの大帝(3)		
	11	第9章大交易・大交流の時代(10) 単元テスト(1)	・アジア海域での交易と、ヨーロッパの海外進出について、地図などを活用して理解する。	1 アジア交易世界の興隆(4.5) 2 ヨーロッパの海洋進出、アメリカ大陸の変容(5.5)		
	12	第10章アジアの諸帝国の繁栄(8)	・アジアの諸帝国の統治体制や社会・文化の特徴などについて、多面的・多角的に考察し、表現する。	1 オスマン帝国とサファヴィー朝(3) 2 ムガル帝国の興隆(1.5) 3 清代の中国と隣接諸地域(3.5)		
	後 期	1	第11章近世ヨーロッパ世界の動向(13)	・ルネサンスや宗教改革、科学革命や啓蒙思想の特徴や影響について理解する。 ・主権国家体制成立の背景と、影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。	1 ルネサンス・2 宗教改革(3) 3 主権国家体制の成立(3.5) 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭(4)	
2		後期期末テスト(1)		5 北欧・東欧の動向(1.5) 6 科学革命と啓蒙思想(1)		
3						